

常陸大宮市支所庁舎等複合施設整備（概要版） 基本計画（個別施設計画）

計画の目的・期間・対象施設

■計画の目的・期間

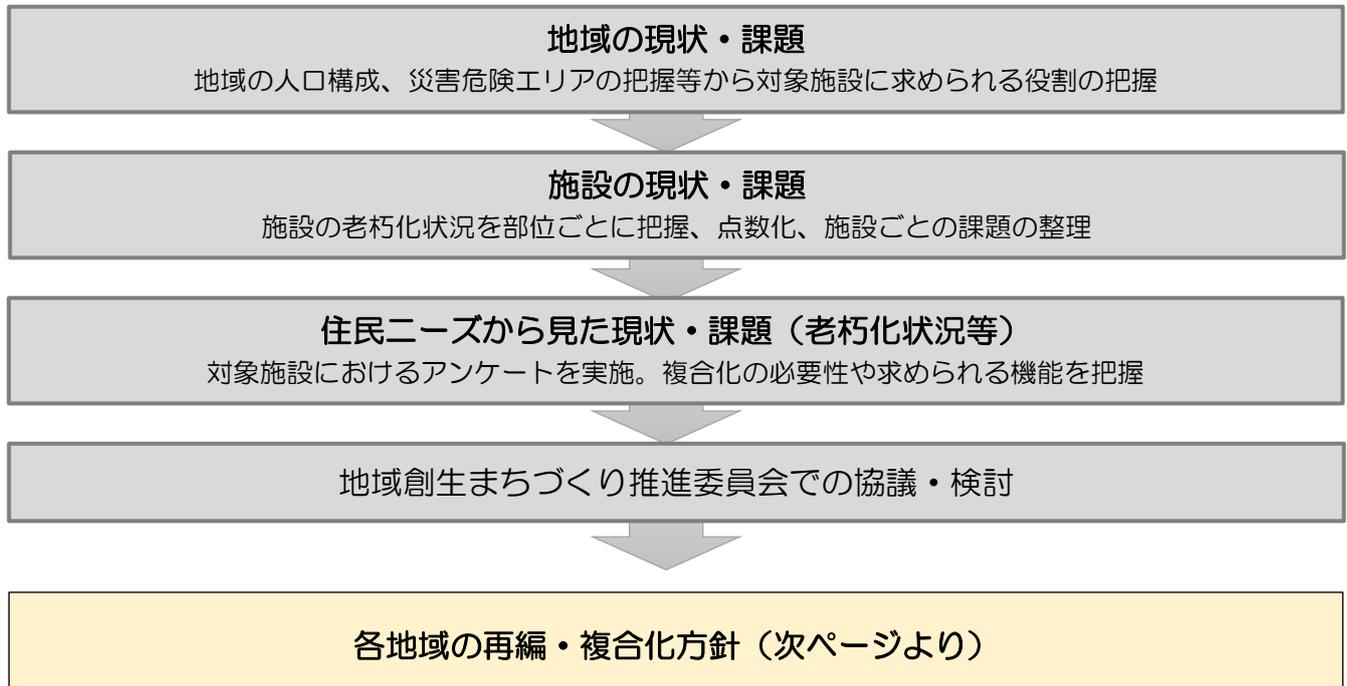
- 本計画では、山方地域、美和地域、緒川地域、御前山地域の支所と公民館との複合化を基本とした方向性を定め、持続可能な地域拠点づくりを進めるとともに、公共施設の総量の適正化をはじめ長寿命化、再編・利活用、コスト縮減、投資的経費の平準化等も努めることを目的として策定します。
- 計画期間は、公共施設等総合管理計画の実現に向け、令和2年度～令和11年度までの10年間とします。以降10年ごとに見直します。
- 公共施設等総合管理計画では、30年間で延床面積の総量の3割削減を目標としています。

■対象施設

山方地域	山方支所（現庁舎・旧庁舎）、山方公民館
美和地域	美和支所（分庁舎）、美和山村開発センター、美和工芸ふれあいセンター
緒川地域	緒川支所（現庁舎・分庁舎）、緒川総合センター
御前山地域	御前山支所（御前山保健福祉センター）、御前山市民センター

策定フロー

再編・複合化計画策定にあたっては以下のフローに基づき作成します。



◆地域センター制度（令和4年4月1日施行予定）

支所地域拠点として、地域センター制度により（仮称）地域センターの運営を開始する予定です。
この制度は、支所、公民館との複合化を基本とし、生涯学習課分室（公民館）職員を支所に集約した上、支所職員が補助執行により地域センターを拠点として公民館事業を運営していきます。
地域センターは、地域行政の総括的役割や地域コミュニティ活動の拠点となる施設です。

各地域の再編・複合化方針

山方地域

■ 建替え・廃止等の方向性

施設	建築年	老朽化状況	判定
山方支所 (現庁舎)	旧耐震 RC 造	老朽化が著しい	建替え 複合化
	S51 年建築		
山方公民館	旧耐震 RC 造	老朽化が著しい	建替え 複合化
	S49 年建築		

コミュニティの拠点となる地域センターの整備

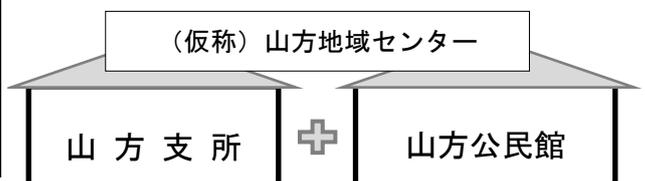
支所庁舎及び公民館については、旧耐震基準の建物で、耐震補強及び大規模改修による費用対効果が低いと考えられます。

当面は現在の施設を地域センターとして活用し、将来的には庁舎等を解体し現在の敷地に支所と公民館機能を併せもつ複合施設を整備します。

■ 機能（導入・維持）

(仮称) 山方地域 センター	支所窓口・事務室、職員用スペース、図書室、和室、調理室、相談室・赤ちゃんの駅、社協・シルバー、多目的室、会議室、防災備蓄倉庫
----------------------	--

【地域センターのイメージ】



美和地域

■ 建替え・廃止等の方向性

施設	建築年	老朽化状況	判定
美和 分庁舎	新耐震 鉄骨造	健全	長寿命化・複合化
	H13 年建築		
美和 工芸ふれあいセンター	新耐震 木造	比較的健全	長寿命化・複合化
	H3 年建築		
美和 山村開発センター	旧耐震 RC 造	老朽化が著しい	廃止
	S48 年建築		

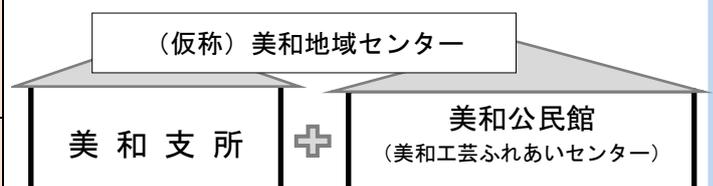
機能集約による施設利便性の向上

旧庁舎の解体により不足する、申告や選挙事務等が行える施設を整備するとともに、現在、公民館として位置づけられている「美和山村開発センター」を廃止し、支所と同敷地内にある「美和工芸ふれあいセンター」内に公民館機能を移し、併せて地域センターとして位置付けます。

■ 機能（導入・維持）

(仮称) 美和地域センター (美和支所)	支所窓口・職員スペース、赤ちゃんの駅、社協・シルバー、会議室、多目的室、防災備蓄倉庫
(仮称) 美和地域センター (美和工芸ふれあいセンター)	調理実習室、和室、資料室、図書室、アリーナ、会議室

【地域センターのイメージ】



緒川地域

■ 建替え・廃止等の方向性

施設	建築年	老朽化状況	判定
緒川支所 現庁舎・増築庁舎	旧耐震 RC 造、鉄骨造	老朽化が著しい	廃止
	S35 年建築		
緒川支所 分庁舎	新耐震 木造	老朽化が見られる	廃止
	H6 年建築		
緒川総合 センター	新耐震 RC 造	比較的健全	長寿命化・複合化
	H11 建築		

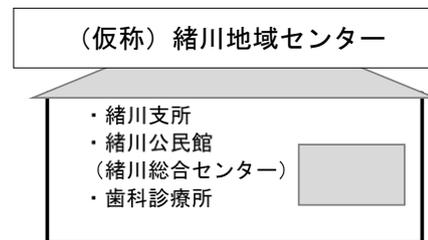
施設機能の集約による効率化

現在の支所庁舎は、旧耐震基準の建物であり、耐震補強及び大規模改修による長寿命化は費用対効果が低いと考えられるため、公民館として位置付けられている「緒川総合センター」内に支所機能を移転することで、地域センターとして位置付けます。

■ 機能（導入・維持）

【地域センターのイメージ】

(仮称) 緒川地域センター (緒川総合センター)	支所窓口等、文化ホール、調理室、創作室、視聴覚室、和室、図書室、赤ちゃんの駅、社協・シルバー、会議室、防災備蓄倉庫
-----------------------------	---



御前山地域

■ 建替え・廃止等の方向性

施設	建築年	老朽化状況	判定
御前山支所 (御前山保健福祉センター)	新耐震 RC 造	健全	長寿命化・複合化
	H9 年建築		
御前山 市民センター	旧耐震 RC 造	老朽化が見られるが比較的健全	長寿命化・複合化
	S56 年建築		

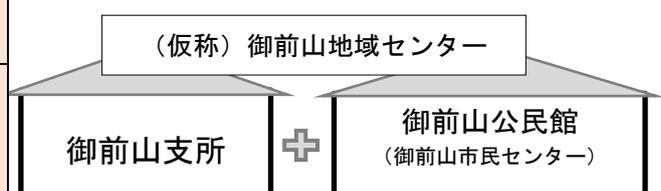
施設のバリアフリー化と多機能化

現状、保健福祉センター内に支所機能を有し、併設する「御前山市民センター」は公民館として位置付けられていることから、既に複合施設として機能していますが、長寿命化にあたりバリアフリー化等による施設機能を整備します。

■ 機能（導入・維持）

【地域センターのイメージ】

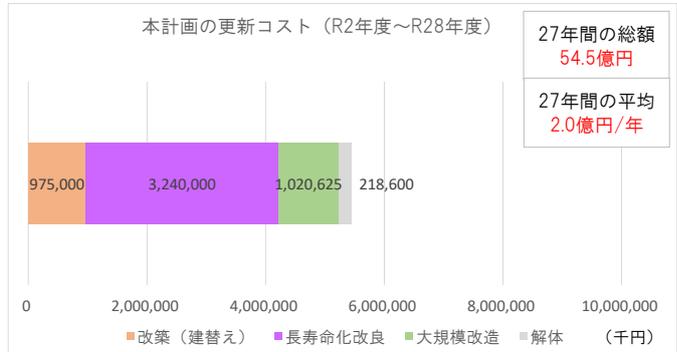
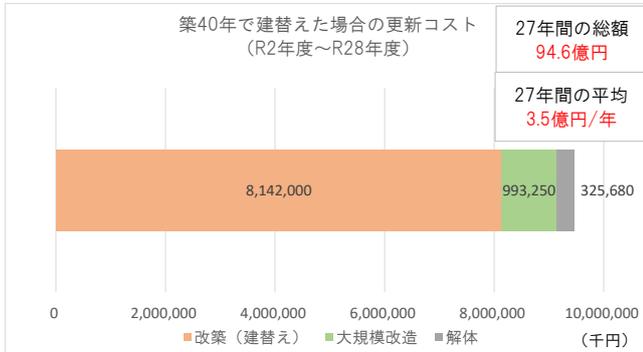
(仮称) 御前山地域センター (御前山支所)	支所窓口、職員用スペース、調理実習室、社協・シルバー、会議室
(仮称) 御前山地域センター (御前山市民センター)	図書室、和室・実習室、創作室、視聴覚室、郷土資料・展示室、児童室、赤ちゃんの駅、相談室兼保健室、講義室兼会議室、大集会室、防災備蓄倉庫



長寿命化の実施計画

- 今のまま施設を使い続け、築40年を迎えた施設を順番に建替える場合の試算コストと、本計画における試算コストを比較します。
- 施設の複合化により床面積の削減が期待できることから、本計画における試算コストの方が、トータルコストが抑えられます。

■ 試算コストの比較



■ 対象施設整備の想定スケジュール

- 本計画に沿って、直近10年間の対象施設の整備内容とその時期をまとめると、以下の表のようになります。

施設名称	整備方針	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
山方支所 現庁舎	建替え複合化						設計	建替え複合化工事		解体工事	
山方支所 旧庁舎	廃止									解体工事	
山方公民館	建替え複合化				解体設計	解体工事					
美和支所 現庁舎	R1解体済み										
美和支所 分庁舎	長寿命化複合化	設計	増築工事								
美和公民館 (美和山村開発センター)	廃止										解体工事
美和工芸ふれあいセンター	長寿命化複合化	設計	改修								
緒川支所 現庁舎・増築庁舎	廃止										解体工事
緒川支所 分庁舎	廃止										解体工事
緒川総合センター	長寿命化複合化	設計	改修								
御前山支所 (御前山保健福祉センター)	長寿命化複合化	設計・改修									
御前山公民館 (御前山市民センター)	長寿命化複合化			設計	改修						
御前山 旧庁舎	廃止										解体工事

長寿命化等の継続的運用方針

1. PDCA サイクルの構築
2. 情報基盤の整備と活用
3. 推進体制の整備
4. フォローアップ等